

暗号資産ウォレットの宛先にメールアドレスを指定可能に

● 課題の詳細

- 現在ウォレットアドレス (0x...) やENS (ken.ethなど) で宛先を指定していますが、ソーシャルなdAppsを企画しようとする、ほとんどが宛先ウォレットアドレスわからない問題にぶつかります。

● 開発して欲しいソフトウェア・システム

- ウォレット持っていないかもしれない不特定多数の人を相手に、NFTなど暗号資産送りたいdAppsや個人や法人にとってのペインキラー
- メールアドレス (もちろんSNSアカウントなどもあり) が分かるだけで、NFTなどの暗号資産を一時的なweb3アドレスに一旦送信できて、セキュアにメールアドレスの所有者のみが受け取った資産を動かせるようにするアイデアがあるので、詳しい設計と実装をやってみませんか。

● 技術要件

- EVM系スマートコントラクト・Lit Protocol
- React (web UI用)

● 対応メンターからのメッセージ (2012年度未踏スーパークリエイター/2023年熊本版未踏的PM 直江憲一)

- 未踏度: 高。このプロトコルができるとクリプト・web3界から注目を受け、マスアダプションの狼煙が上がります。エンタープライズ企業が導入するなどトレンドの波に乗れるでしょう。

● 参考: <https://ethglobal.com/showcase/hikyaku-protocol-run4m>